

## 第3章 運営計画

### 3-1 基本的な考え方

新生美術館の使命や基本方針などを踏まえ、下記の考え方を基本として、美術館の管理や運営を行います。

#### 1. 県民や利用者の立場に立った運営により、美術館ならではの高い満足感を提供する

美術館としての専門性に裏打ちされた様々な活動やサービスを、県民や利用者の立場に立って提供することで、多くの皆さんにご利用いただくとともに、満足感や愛着、誇りを感じていただけるよう努めます。

#### 2. 多様な主体や地域とつながり、双方向で連携や協働をすすめる

様々な分野で活動を行う団体、個人や、地域の活動と積極的に連携し、幅広い力を館の活動に反映させるとともに、館の持つ専門的な機能を提供するなど、双方向で協働を進めます。

#### 3. 効果的・効率的な運営のもと、持続的な美術館活動を展開する

常に経営感覚を持ち、持てる資源で最大限の美術館活動が持続的に展開できるよう、効果的で効率的な運営を行います。

### 3-2 運営の方式

- ・ 現在の近代美術館の運営は県直営方式ですが、弾力的で効果的・効率的な運営を行うため、指定管理者制度を含め、運営の方式について今後検討を行います。その際には、美術館運営の特性や、新生美術館にふさわしい能力を備えた運営主体があるかといった点も、十分勘案する必要があります。
- ・ さらに、これまで近代美術館が蓄積してきた企画立案の専門的なノウハウや、他の美術館や作家、作品寄贈者等との信頼関係を今後も維持するとともに、琵琶湖文化館から移転する貴重な国宝・重要文化財等を将来的に安定的に保存継承していく必要があるため、学芸部門等の継続性について、担保する必要があります。

### 3-3 運営組織・人材

---

- ・ 館長には幅広い見識と専門性、そして経営感覚が求められます。その強いリーダーシップのもと、柔軟かつ機動的に運営にあたるような組織とします。
- ・ 館が扱う美術分野として、新たに加わる仏教美術等やアール・ブリュットをはじめ、新たな美の潮流への対応など、新生美術館に必要となる専門性を備えた学芸員の確保に努め、適正に配置します。
- ・ 公開承認施設の承認を維持するため、必要な知識・技術・経験を有する学芸員を配置します。
- ・ 仏教美術等をはじめとする作品の修復と指導を行うため、必要な知識や経験を有する学芸員の設置に努めます。
- ・ 美術館と、地域や現場、産業・福祉・教育といった幅広い関係先、県立図書館や周辺大学などの周辺施設等との連携や協働を行う窓口機能や交流機能を充実します。
- ・ 児童、生徒を対象とした展示解説やワークショップなどの教育事業の企画・実施と、それに携わるボランティア等の養成を行う職員（エドゥケーター）の配置に努めます。
- ・ 美術館の存在を内外にアピールし、多くの方に美術館を利用してもらえるよう、効果的で効率的な情報発信戦略を検討・実施する、広報マーケティング機能を充実します。
- ・ 学芸員や各専門職員が専門性を発揮しつつ、事務職員を含めたすべての館職員が横断的に連携して事業の企画・実施を行う組織づくりを検討します。
- ・ 学芸員をはじめとする美術館職員が専門性を高めるため、研修の機会を設けるほか、同時に幅広い視野を持つことができるよう、配置のローテーションを行います。

#### <県民や地域とつながる美術館として求められる職員のあり方>

- ・ 美術館のすべての職員は、多くの方に愛され、信頼される美術館を目指して、ホスピタリティ（おもてなし）を発揮し、県民や利用者と積極的に対話を行います。
- ・ 学芸員をはじめ各職員が日頃から地域や現場に足を運び、幅広い団体や作家、施設等と積極的な関わりを持ち、連携や活動の支援を行うほか、そのネットワークを館の活動に活かします。
- ・ 美術館に対する県民や利用者、社会からの期待や求められる役割について積極的に受け止め、常に新たな視点での事業展開に柔軟かつ意欲的に取り組むことが求められます。

## 運営組織とその機能の想定

### <学芸部門>

- ・ 展示  
展示の企画、実施
- ・ 作品収集
- ・ 作品保管・修復  
作品の保管に適切な環境を整える、作品の修復  
文化財の一時預かりや保存修理のための技術指導
- ・ 調査・研究

### <学習・交流・連携部門>

- ・ 交 流  
情報発信や交流の場の提供  
県民・施設・NPO等様々な主体の参画の促進  
ボランティア・サポーター等の育成・連携  
アール・ブリュット作品の貸出
- ・ 学 習  
子ども・一般向けの鑑賞や体験プログラムの企画・実施
- ・ 情報・交流室の運営  
情報や蔵書、資料の収集・整理・提供
- ・ 連 携  
関連事業の企画・実施  
観光・交通・産業など幅広い分野との連携  
近隣の県立図書館や大学、美術館・博物館等との相互連携

### <広報・マーケティング部門>

- ・ 戦略的な広告・宣伝、広報、利用者の開拓等集客策の企画・実施

### <総務部門>

- ・ 経営企画、総務・経理、施設管理

## 3-4 開かれた運営のあり方

### (1) 幅広い意見の反映

- ・ 利用者の意見を的確に把握するため、実効性のあるアンケートを実施するとともに、寄せられた意見を迅速に検討し、対応できる仕組みをつくります。
- ・ 美術館協議会をはじめ、文化団体、経済団体および利用者団体など美術館と深く関わりのある団体等から定期的に意見を聴き、運営の改善に活かせるよう努めます。
- ・ 利用者以外からも広く意見やニーズを把握し、美術館が多くの方に利用されるよう取り組みます。

## (2) 多様な主体との連携

- ・ 市町、県内の文化施設、地域の文化関係団体、社寺、滋賀ゆかりの作家などと積極的、有機的に関わりを持ち、多様な主体と協力関係を築くことで、様々な力を結集し、館の事業展開をより柔軟で行動的なものとするとともに、県全体に美術館活動を展開します。

## (3) 県民や団体の参画

- ・ 現在の近代美術館には、作品解説や教育普及事業、広報事業などのサポートを行うボランティアである「近代美術館サポーター」制度があり、大きな役割を果たしています。新生美術館における今後の事業の企画・実施にあたっては、より一層、幅広い県民や団体の参画や協力が不可欠であり、新たな参画の仕組みづくりや主体的な発信の舞台づくりなどを検討します。

## 3-5 自律的・継続的な運営の取り組み

---

### (1) 幅広い利用の促進につながる取り組み

- ・ 美術館の存在や、その活動が魅力的に多くの方に伝わるよう、多様な手段による広告や広報活動を戦略的に行います。
- ・ 旅行業界や学校、企業等、様々な機関や団体に積極的に接触し、美術館への来館促進を図ります。
- ・ 友の会制度の拡充等により、美術館のファンやリピーター層を拡大します。
- ・ 美術館の幅広い楽しみ方を提案し、美術に関心の薄い人や、初めての人が美術館に足を運ぶきっかけとなる、多彩な分野のイベントを開催します。
- ・ 次代を担う多くの子どもたちが美の魅力に出会う機会を提供するため、子どもにも親しみやすい展示やワークショップの実施、学校団体での鑑賞プログラムの提供と交通手段の支援、学校への訪問授業、教材の開発と提供、体験型展示や託児機能を備えたキッズ・ルームの設置、触れて楽しめる屋外展示を行います。
- ・ 美術館の魅力構成する重要な要素の一つとして、利用者が美術館においてゆっくり時間を過ごし、楽しめることができるよう、レストラン・カフェや、ミュージアム・ショップを設置し、運営主体と連携しながら滋賀の産品や県内作家の作品を積極的に扱います。
- ・ レストラン・カフェ、ミュージアム・ショップ、キッズ・ルーム、屋外展示など、無料エリアの魅力を上向き、公園利用者をはじめ多くの方に気軽に美術館に足を運んでもらう中から、美術の魅力に触れてもらうきっかけとなることを目指します。

### (2) 経営面での取り組み

- ・ 美術館への投資が確実に社会の利益に還元されるよう、常に職員の一人ひとりが経営感覚を持ち、効果的・効率的な運営に努めます。
- ・ 美術館の持続可能な運営につながるよう、明確な目標設定を行い、自己評価を実施するとともに、外部評価も取り入れながら、総合的かつ継続的な点検・評価に取り組み、運営改善につなげます。

- ・ 観覧料収入や物品販売収入等の拡大と、国や関係機関・団体等からの補助や助成の獲得、民間からの寄付・広告収入の増収に努めるとともに、施設に対するネーミングライツの導入の検討を行うなど、多様な資金調達を図ります。

### 3-6 周辺環境・施設との関わり

---

- ・ 美術館の資源や地理的特性を活かした魅力発信を目指し、関係する自治体や地域と連携したまちづくりを進めるとともに、びわこ文化公園都市将来ビジョンの施設連携協議会に主体的に参画し、近隣の図書館、大学、高等学校、文化施設等と情報の交換、共有、連携施策の推進等に努めます。
- ・ 特に、隣接する県立図書館に関しては、相乗効果による利用の促進や、展覧会等と連動した連携事業の実施、双方が持つ蔵書等の情報の共有化などの検討を行い、密接に連携・協力をを行います。
- ・ 県内の美術館・博物館、文化施設、旅行会社、観光協会等と連携して、話題性の高い展覧会の開催や、共通入場券や割引券の発行、連携キャンペーン等を展開することで集客を図るとともに、県内の周遊観光を促進し、交通機関、レストラン、商店、ホテルなどの利用者を増やし、地域の活性化を図ります。